

2018 合同防災訓練 報告

つくし野自治連合会会長 鈴木匡

10月21日、つくし野小学校校庭で、つくし野自治会連合の防災訓練が開催されました。この訓練は、大震災が発生したとき、何とか「3日間を生き延びる」をスローガンに開催されました。全国から救援物資が届いたり、救助隊が到着するのは大体地震発生後4日後です。ですから「3日間」は自らなんとか生き延びなくてはなりません。

「生き延びるための基本」は、自助努力が基本ですが、次に大切なのは、「ご近所の助け合い」、「地域での助け合い」です。阪神淡路大震災でも自宅が倒壊したり、家具の下敷きになった方の80%がご近所の方々によってでした。救助隊に助けられたのはわずか5%未満でした。

ご近所の力こそが生き延びるために必要なことだったのです。

今回の訓練では、つくし野小学校、町田市役所、町田消防署、町田消防団の皆さんが大きな役割を果たしていただきました。本当にありがとうございます。そして何より大切なことが、4自治会の防災組織の皆さん方がいろいろ準備していただき、当日も運営から各ブースでの進行・誘導まで朝早くから準備をしていただいたおかげです。

そして参加された皆さんも10あるブースを廻っていただきご参加いただきました、幸いお天気にも恵まれ大成功の裡に終了することができました、ありがとうございます。

(参加人数報告) 1・2丁目 515人(680世帯)、2丁目 153人(230世帯)、3丁目 108人(380世帯)、4丁目 60人(420世帯) *各丁目の世帯数は概数



班会議で日常の情報交換



いっとき集合場所(貝がら公園)

(1・2丁目訓練) 参加世帯数：386(57.2%、+5.2%)、参加人数515(+11.2%)、OKプレート485(71.9%、+11.8%) *カッコ内は比率と前年比